

青森からお届けします！



いよいよ今年度のりんごは「恋空」からスタートします!!
7月は雨がほとんど降らず、暑い日が続きました。
畑の中は連日32℃を超えて、私も汗だくです。
りんごの葉っぱにはキラキラの太陽が
りんごを守るようにそっと影をつくってくれています。
りんごのおかげで、日陰で作業ができています。
今年もまた、大切に育てたりんごを皆さまに
お届けできること、じからうれしく思っています。

キラキラテープ

名前だけ聞くと、まるで子どもと遊ぶ玩具のようですが、この風に揺らめき、太陽の光をキラキラと乱反射させるテープは、鳥たちの視覚を確実に狂わせて、りんごを守ってくれる大切な存在です。

8月から収穫予定のりんごが、なんと、もう食べられていました。早すぎる… 急いでテープを張りました。

鳥の目線になって、どこに張れば飛来を防げるかを考えながら。まだ甘みののっていない実でも、鳥たちは先に熟す品種をちゃんと知っていて、真っ先に狙ってくるんです。本当にすごい…。

自然と向き合いながら、「この方法で合っているかな?」「このタイミングで正解かな?」そんなふうに、毎日答え合わせをしながら、私たちはりんごを育てています。 工藤



薬剤散布 ここからスタート!

先日、初めてスピードスプレーヤーに乗って薬剤散布をしました。これまで一度も乗ったことがなかったので、とても嬉しい挑戦でした。

…ところが、散布中に薬剤がゴーグルにかかってしまい、操縦レバーが見えなくなってしまっ。散布の向きをうまく切り替えられず、結局、運転するだけで終わってしまいました。

不甲斐ないデビュー戦になってしまいましたが、これから少しずつ経験を積んで、知識や技術を身につけていきたいと思っています。そして、早く一人前のりんご農家になれるよう、努力していきます。 對馬



カラカラのりんご畑に、今できること!

今年の梅雨は雨が少なすぎて、りんご畑はカッサカサに乾いちゃってます。雨が降ってくれないとりんごも大きくなれないので非常に良くない状況です。

なので、ポンプやスプレーヤーを使って木の根元に直接水を撒く作業をしています。乾燥しきった大地にはまさに『焼け石に水』のような感じですが、ただ指をくわえて雨降りを待つわけにもいきません。

りんごとりんごの木を守るために、みんなで一生懸命出来ることを頑張ってます!! 久米



青森りんご産地直送

大湯ファーム

〒036-8124 青森県弘前市石川字石川64

TEL : 0172-49-7890

FAX : 0172-55-0257

メール : info@ooyufarm.com

ホームページ : <http://ooyufarm.com>